

プログラミング 発想力競う

神戸で小学生対象の県大会



プログラミングの発想力や技術力が評価され、記念写真に納まる受賞者＝神戸ファッション美術館

加西の衣笠さん最優秀

映像やアプリなどをプログラミングして発想力や技術力を競う「全国選抜小学生プログラミング兵庫県大会」(神戸新聞社主催)が、

個人・団体計23組が、環境問題を学べるゲームなどを披露した。

大会は、2020年度から

神戸・六甲アイランドの神戸ファッション美術館であった。書類選考を通過した

小学校の必修科目となったプログラミング教育への理解促進などを旨とする。独自の発想に基づく作品を募

り、最優秀賞の受賞者は来年3月の全国大会に進む。22日にあった県大会では、審査員らが見守る中、児童は工夫した点を3分間で発表した。最優秀賞は、加西市立北条東小学校の6年生、衣笠新禾さん(11)の「ラクのワールド大冒険」が受賞。地球温暖化を学ぶことができるゲームで、危機感を表現しようと配色を工夫したといい「全国大会でも必ずチャンピオンになる」と意気込んだ。

(村上貴浩)

その他の受賞者は次の通り。(敬称略)

優秀賞Ⅱ由良俊太郎(神戸市立向洋小)▽大栄環境賞Ⅱ浦杉一生(太子町立石海小)▽みなと銀行賞Ⅱ大橋瑞生(神戸市立美野丘小)・石原路(神戸市立福住小)▽住友生命賞Ⅱ南和樹(姫路市立英賀保小)▽美樹工業賞Ⅱ武藤慎太郎(神戸市立成徳小)